



大圧協新聞

大阪生コンクリート圧送協同組合

〒552-0007

大阪市港区弁天1-6-8 オレンジビル2F

(TEL) 06-6599-5530 (FAX) 06-6599-5537

(Email) pump@daiatsukyou.com

(URL) http://www.daiatsukyou.com/

2007 年度 日本建築学会 大会 (九州)

8月29日 (水) ~ 31日 (金) 福岡大学七隈キャンパス

へ大圧協等の取組の成果も発表

今回の日本建築学会の大会では、ポンプ工法に関するパネルディスカッション(29日)と圧送性評価に関する13本の研究発表(30日)が持たれることになった。

超高層建築や鉄筋コンクリート造集合住宅に対応する高性能生コンの開発・進化や骨材事情の変化があり、ポンプ機能の高性能化がある一方で、圧送技術分野における未

の育成やポンプ老朽化、環境対策等々、課題も山積している。ポンプ工法によるコンクリート施工に関する現状と諸課題に光が当てられる。

また、建築学会では「コンクリートポンプ工法指針・同解説(1994年2次改定)」の3次改定を08年に予定している。改定方針は、①関連業界の指針整備状況を鑑み、指針内容の再検討、②最近の技術を含め推奨技術の充実、③コンクリートポンプ工法による施工計画の充実、④プロセスコントロールのための品

質・施工性評価技術、⑤安全・環境対策技術の充実。今回討議結果は指針改定に反映される。

ところで、30日の13本の研究発表は、同会近畿支部材料施工部会ポンプ工法ワーキング・グループで実施された実験及びその解析を基にした過去2年の成果である。大圧協やワーキング・グループ等が取り組んできた「圧送技術研究会」の地道な研究が、建築学会というより広い研究の場で深化されることを期待する。

8月29日 [水] 13:30~17:00 | A棟4階A403室
コンクリートポンプ工法によるコンクリート工事の諸問題

司会——二村誠二 (大阪工業大学)

副司会——中田善久 (日本大学)

記録——柳田克己 (鹿島建設)、大塚秀三 (ものづくり大学)

1 | 主旨説明——和美廣喜 (島根大学)

2 | 主題解説

①ポンプ圧送技術の動向と諸問題——早川光敏 (東京工芸大学)

②コンクリート圧送業界における諸問題と対応

——吉見正 (全国コンクリート圧送事業団体連合会)

③コンクリートポンプメーカーの現状と展望

——清水正樹 (日本建設機械工業会)

④生コン業界における諸問題と対応

——田口茂久 (全国生コンクリート工業組合連合会)

⑤施工者側の諸問題と対応——岩清水隆 (竹中工務店)

⑥コンクリートポンプ工法に関する学協会の指針の現状

——鈴木澄江 (建材試験センター)

3 | 討論

4 | まとめ——榊田佳寛 (宇都宮大学)

8月30日 [木]

フレッシュコンクリートの性能とポンプ圧送性の評価に関する研究

その 1. 研究の概要

その 2. 管内圧力損失の測定結果

その 3. フレッシュコンクリートの試験結果 (1)

その 4. フレッシュコンクリートの試験結果 (2)

その 5. 長距離圧送および高所圧送における硬化物性の変化

その 6. 調合および材料の違いと管内圧力損失

その 7. 普通強度のコンクリートの管内圧力損失の推定

その 8. 高強度コンクリートの管内圧力損失の推定

その 9. レオロジー的検証による管内圧力損失の推定

その 10. 管内圧力損失に及ぼすせん断流動とすべり流動に関する検討

その 11. 振動フロー試験によるポンプ圧送性評価

その 12. 高強度コンクリートの吸込み効率の推定

その 13. 圧送性評価ソフトの開発

—第4回圧送技術研究会—

日時 2007年10月30日 (火)

場所 大阪国際交流センター

日本建築学会大会での発表の関係もあり、第4回研究会は、10月に繰り延べした。ご理解を。

福岡大学へのアクセスマップ



福岡大学へは地下鉄七隈線をご利用されると大変便利です。
運賃(片道あたり)
○福岡空港→博多駅 320円
○博多→博多駅 290円
○天神南→博多駅 290円
若地下鉄で地下鉄1日乗車券を600円にて発売しておりますのでご利用ください。
注意
若地下鉄ご利用で、天神→天神南間をお乗り換えの場合
いったん改札を出て一部の通廊を移動しますので、改札で
乗換え専用の自動改札機をお通りください。

会場までの交通機関のご案内

